

女性の政治参加を阻み、多様な民意を切り捨てる
比例定数削減に反対し、選挙制度の抜本改定を求める請願

【請願趣旨】

自民党と日本維新の会の連立与党は、衆議院議員の定数削減法案を国会で強行する動きを強めています。本来やるべき企業・団体献金禁止を棚上げして議員定数削減にすりかえるものであり、なにより民主主義の根幹にかかわる選挙制度を与党が数の力で決めることなど許されません。

女性や多くの市民、衆参 11 のすべての野党と会派が強く反対し、先の国会で成立が見送られ、継続審議となった法案には、比例定数のみ 45 議席削減が明記されています。

日本の国会議員定数は、経済協力開発機構(OECD)加盟国 38 カ国中 36 番目で、定数を増やすことこそ必要です。小選挙区制によって大量の「死票」が出るも、多様な民意を反映する比例代表は欠かせない制度です。

日本のジェンダー平等度の国際的遅れは、女性議員の少なさが大きな要因であるにもかかわらず、選挙制度改革の議論にジェンダーの視点が欠落しています。女性議員を増やすには、比例代表中心の選挙制度への抜本改定こそ求められており、比例削減は女性の政治参加をさらに阻むものです。

連立与党は、物価高や災害で苦しむ国民の願いに背をむけて戦争国家づくりを加速させています。国会から反対意見や少数意見を排除し、議会制民主主義をこわす比例定数削減はやめるべきです。

以上の趣旨から、次のことを請願します。

【請願項目】

- 1、 国会議員比例定数を削減しないこと
- 1、 比例代表中心の選挙制度へ、抜本改定をおこなうこと

※氏名、住所は郡や町名、番地などを省略せずに、一人ひとり明記を。「同上」「〃」は無効です。

氏 名	住 所
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

2026.9.

いただいた署名は宛名への請願・要請以外には用いません。



新日本婦人の会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20